

協定留学近況報告書

記入日	2018年 11月 24日
留学先大学	フランス国立東洋言語文化研究所
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語): 日本学部, (現地言語での名称): Département Japonais</small> <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2018年9月－2019年7月
明治大学での所属	学部__学科__専攻 / 商学研究科商学専攻
学年(出発時本学での学年)	学部 年生 / 研究科 <input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

協定留学者の報告書を参照しつつ、直近のフランス語学試験に申し込み、語学の勉強から始めた。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類: 学生ビザ	申請先: フランス大使館
ビザ取得所要日数: 3週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 15000 円(Campus France での手続き料金) +6500 円(ビザ申請料金)+銀行残高証明書(1700 円)+レターパック(510 円)

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

国際事務室経由で Campus France から(VISA 申請の手引き)が送られてきたので、それを参照しながら手続きを行った。VISA 申請時に用意する書類は、長期ビザ申請書、証明写真、パスポート、ビザ申請料金(50€相当の日本円)、経済証明、移民局(OFFI)提出用フォーム、レターパック。

具体的な申し込み手順を教えてください。

Campus France のアカウントをつくり、明治大学の国際事務室へ連絡する。オンラインフォーム記入(留学予定先大学や志望動機、各種身分証明書の提出など)すると、Campus France から承認メールが届く。手続き料金 15000 円を支払った後、VISA 申請に必要な書類を揃えてフランス大使館へ申請する。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

交換留学生の場合は面接免除になる。

ビザ取得に関して困った点・注意点

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

手数料が安くすむキャッシュ/デビットカードの用意。特に銀行のカードは申請から家に届くまで 2 週間かかるので、余裕を持って準備しておくとい。Sony 銀行のデビットカードは、為替の良い時にネット上で両替して外貨預金しておくことができ、使用した分はそこから引き落とされるため、他の銀行のカードよりも使い勝手が良いと感じる。それから私は渡航前に時間がなくて作るのを諦めたが、Manepa カードは現地で現金を引き落とす際に、一番手数料が安く済むと聞いた。

- ・現地で使用する携帯電話の用意
- ・現地で必要になる必要書類(コピーもとる)をまとめたファイルを作ること
- ・留学の申請から提出を求められた書類を USB にまとめて整理しておくこと

フランスに来て、ネット上で申請書を出すような場合もあるので、パスポートや証明写真、その他大事な書類はデータ化して USB にまとめて保存しておくとい。7 枚ほど持参した証明写真の焼き増しは、現時点ですべてなくなった。

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	中国国際航空			
航空券手配方法	トラベルコちゃん ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。			
大学最寄空港名	シャルル・ド・ゴール空港	現地到着時刻	06:40	
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	50 時間			

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

※パリの寮へ行く前にモンペリエへ行きそこからパリへ戻ってきたため、出発地は空港ではなく Gare de Lyon になっています

Gare de Lyon → [Metro 1 ;Chateau de Vincennes]Porte de Vincennes → [Tram 3a ;Pont Garigliano] → Stade Charlety

大学到着日	09月03日 11 時頃
-------	--------------

2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()	
住居の申込み手順	渡航前の 4 月に INALCO へ提出した書類に住居の紹介を希望するかどうか記入する欄があったので、そこで家賃の予算を書いて希望した。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

INALCO からの紹介により、すぐに渡航前(6月頃)には決定していた。ただし Cité International Universitaire de Paris へ入寮するための手続きはオンライン上にて自分自身で行った。寮への申込みの際、INALCO から提示されていた滞在期間があったはずだったが、その滞在期間を超えて滞在予定の留学生が、国際課の担当者に相談して現地に来てから入寮期間期間を延長してもらった。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9月8日: 日本学部1年生、9月14日: 留学生用語学授業オリエンテーション/学部2, 3, 4年生、大学院オリエンテーション、9月17日: 留学生オリエンテーション&交流会
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	9月8日: 日本学部1年生のオリエンテーションに交換留学生は必ず出席するようと言われた。時間は2時間ほど。学部のシラバスを参照しながら、授業や、単位の説明、教授や、イベント、サークル、日本からの留学生の自己紹介など。9月14日: 留学生用語学授業の履修希望者は参加必須。説明会后レベル分けフランス語のテストあり。その他、自分の履修希望の学部、大学院のオリエンテーションに参加する。(留学生は他学部も履修可能)
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	09月17日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

必要あり。入国後 3 ヶ月以内に OFFI 出張所(居住地によって場所、申請方法が異なる)に行き、必要書類を揃えて提出する。不備がなければそのときに OFFI(移民局)へ行く rendez-vous の日程が記された召喚状が渡される。その召喚状と、収入印紙(60€)をネット上で購入、それを印刷した用紙を OFFI 事務局へ持っていくと滞在許可証が有効化される。9 月 10 日に OFFI 出張所に出向き、10 月 2 日に rendez-vous、その日に滞在許可証の有効化手続きが終わったが、3 ヶ月以内にこの手続きが終わらないこともよくあることらしい。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

特になし

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

日本語が通じる LCL ピラミッド支店で手続きをした。はじめにネット上で必要事項の記載をし、予約の申し込みをしようとしたが、その後銀行から電話がかかってきて拙いフランス語能力のせいでうまく予約が取れず、実際にピラミッド支店まで出向いて予約を取りに行った。9 月上旬に予約を取りに行き、そのときに必要書類(身分証明書、住居証明、学生証または入学許可証)が記載された紙を渡された。その必要書類を揃えて約 2 週間後の予約した日程の日にもう一度、支店へ出向きその日に口座開設がされた。開設するためには 500€の預金(現金)を最初に預金することが必要。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

日本で購入した SIM フリーの携帯電話を持っていき、現地の携帯会社 Free の SIM カードを買って使用している。料金は1ヶ月 8.99€で 50GB のインターネット通信、日本への電話、SMS、MMS が無制限に利用可能。SIM カードは Free 支店に設置されている自動販売機で即購入できる。その際必要だったのは、フランスでの滞在住所とメールアドレス、クレジット/デビットカード。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(月 日頃)

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(10月5日頃)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床、朝食	起床、朝食	起床、朝食	起床、朝食	起床	起床	起床
8:00	登校	登校	シャワー、洗濯、	登校	シャワー	朝食、身支度	朝食、身支度
9:00	Correction phonétique(フランス語授業;発音)90分	Expression orale(フランス語授業;会話)90分	身支度	Compréhension écrite(フランス語授業;読解)90分	朝食、身支度	手続きごと	マルシェ
10:00	自習	自習	自習	Expression écrite(フランス語授業;筆記)90分	美術館		美術館
11:00	自習	自習	自習				
12:00	昼食	Compréhension orale(フランス語授業;聴解)90分	昼食	昼食		昼食	
13:00	蚤の市	昼食		自習	パリ散策	自習	
14:00		自習	自習	自習			
15:00				自習			
16:00				自習			
17:00		買い物		Sciences Sociales du Japon contemporain(現代日本の社会科学)120分			自習
18:00	帰宅	帰宅			買い物		
19:00	夕食	夕食	夕食		夕食	夕食	夕食、シャワー
20:00	身支度	身支度	身支度	帰宅、夕食	身支度	身支度	身支度
21:00				身支度	映画・読書	映画・読書	
22:00	読書	読書	読書				読書
23:00	電話	電話	電話	自習	電話		電話
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

INALCO は西洋以外の文化と言語を学ぶために設立された学校のため、外国語を学ぶフランス人や、その他の国から来た留学生が数多くいる。留学生のためのフランス語の授業が充実していることや、日本からの留学生をひとまとめにして、交流会や、オペラ、食事会などへの招待があるなど、留学生に対して非常に面倒見の良い学校だと感じる。留学生の所属学部は日本学部と決まっているようだが、希望すれば他学部(一部の学部は、語学レベルによる制約あり)の授業、大学院の授業も自由に履修できる。フランスへ留学に行き、日本のことよりもフランスのことを勉強したいという思いがあったため、日本学部にも所属すると知ったとき(8月)は一抹の不安を抱えていたが、こちらに来て3ヶ月ほどが経過した今、その不安は完全に解消されている。INALCO では自由な授業の選択が認められていて、選択した授業に満足しているのに加えて、学校がない他の時間には自由にパリを散策し、美術館へ簡単に行くこともできれば、INALCO 近くにあるフランス国立図書館で読書や勉強をすることもできる。Cité Internationale Universitaire de Paris は、トラムの駅二つ分を跨ぐほど大きな敷地の大学寮であり、その中には40ほどの様々な国の maison がある。私が滞在しているポルトガル館では、受付の階に中ホールくらいの大きさの部屋があり、そこでしばしばピアノやソプラノ歌手など、室内音楽コンサートが開催されるところが気に入っている。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

INALCO は留学生に対して非常に良い環境を用意してくれている学校である。どの学校を選んでも同じことだが、留学をして自分のやりたいことをできるかどうかは自分自身の身の振り方次第である。とりあえず INALCO では、周りの環境に制約されることはほとんどない。そしてフランス語ができるほど、フランスでの生活から享受できるものも大きくなることは当然である。私は未だ、フランス語を難なく使いこなせているとは言い難く、地道なフランス語学習も続けているが、こちらに来てから感じたことは、「読む」「書く」「話す」「聞く」の言語能力のうち、日本でフランス語学習をしていたときに圧倒的に欠けていたのは、やはり「話す」と「聞く」ための練習である。この「話す」と「聞く」能力は、机に向かって文法書や辞書を片手に勉強して身につくものではなく、自分の知っている単語と文法で、間違えることを恐れなくて、相手と会話をしたいという意志と姿勢が必要である。もしも渡航前の自分にアドバイスをするとしたら、フランス語のできる友達や、外国人が集まる場所に出かけて、自分の学習している外国語を実際に使って人と交流する機会を作れ、と言いたい。ためらわずに進んで外国語でコミュニケーションを取ろうとする外国人の語学習得の姿勢からも学べるのが沢山ある。